

# つみたてNISA Meetup in 姫路

#つみっふ

平成30年5月15日

じばさんビル502会議室

主催：金融庁





# メモ



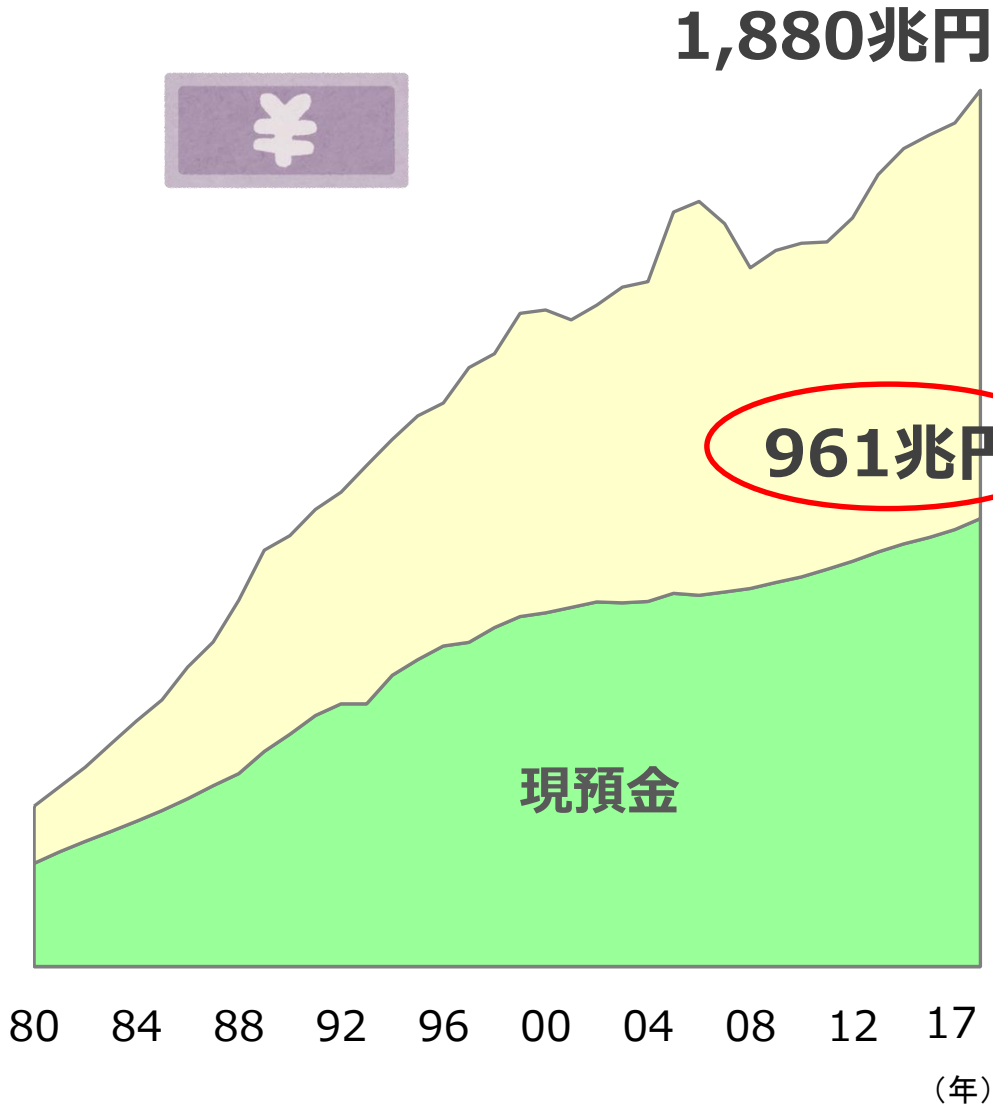
## つみたてワニーサ

ある日突然人間界に現れた優しいワニー。  
ゆっくり慎重派だけど、  
みんなから信頼され愛されている。  
どっしりと安定感のある背中には  
いつもに何かを乗せて運んでいて、  
不思議な尻尾は右肩上がりに成長していく。



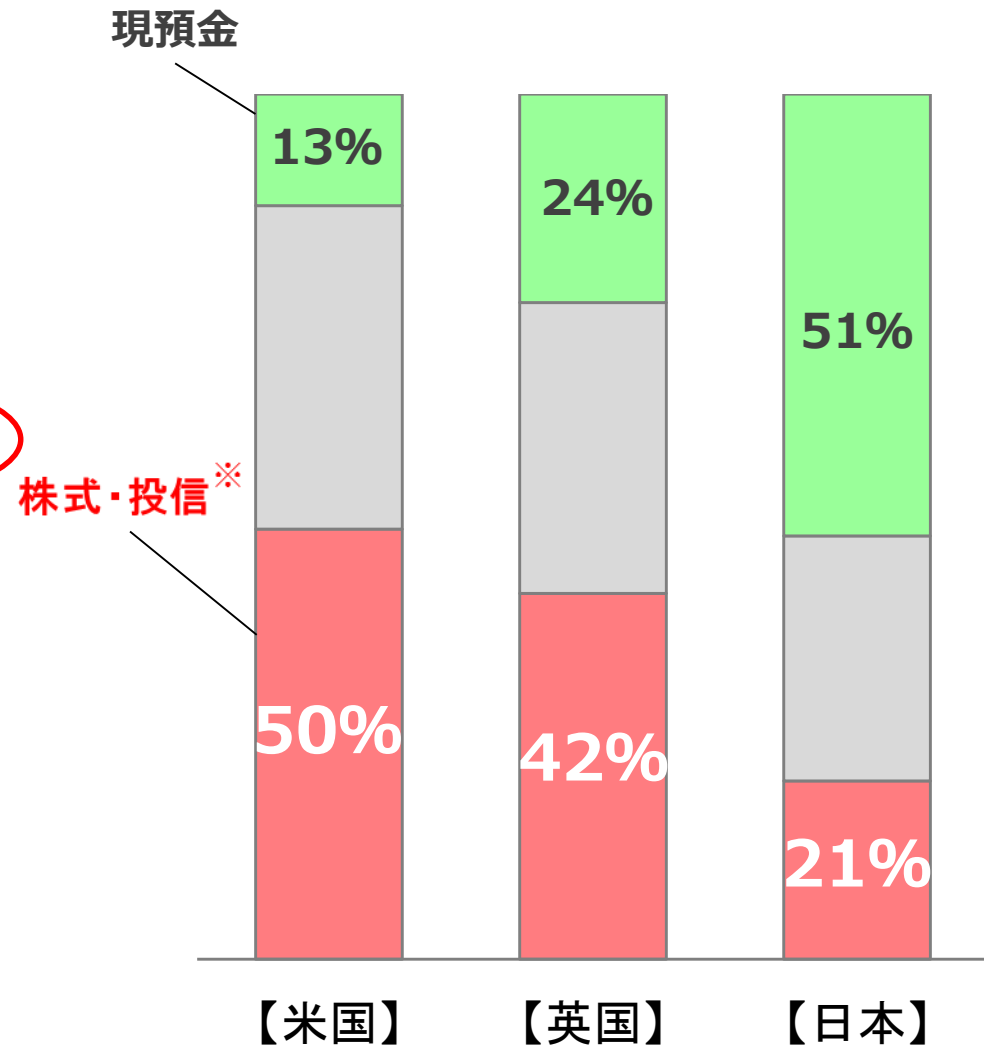
# 家計金融資産の推移・構成比

我が国の家計金融資産推移



(出典) 日本銀行より、金融庁作成

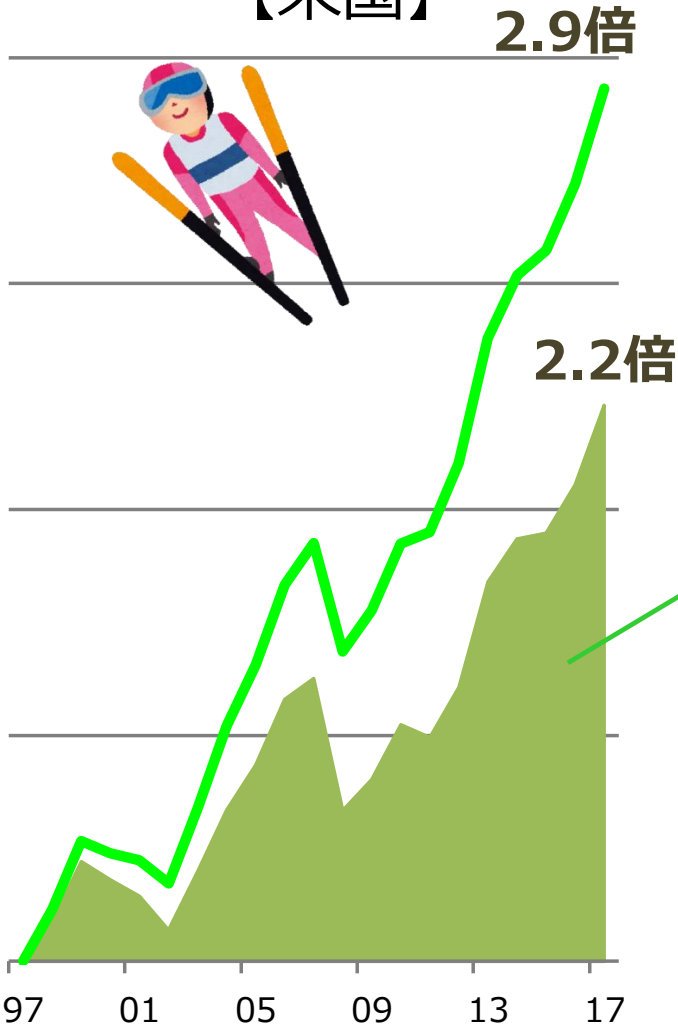
各国家計の株式・投信の割合 (2017年末)



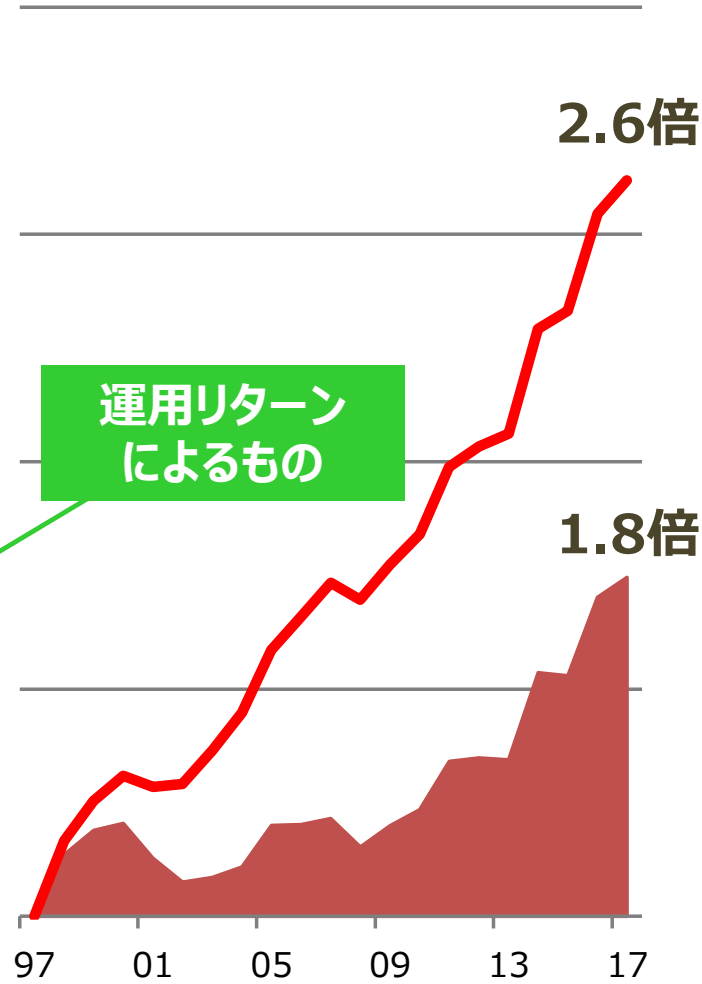
(※) 株式・投信は間接保有を含む割合。  
 (出典) FRB、BOE、日本銀行より、金融庁作成

# 各国の家計金融資産の推移

【米国】



【英国】



【日本】



(出典) FRB、BOE、日本銀行より、金融庁作成

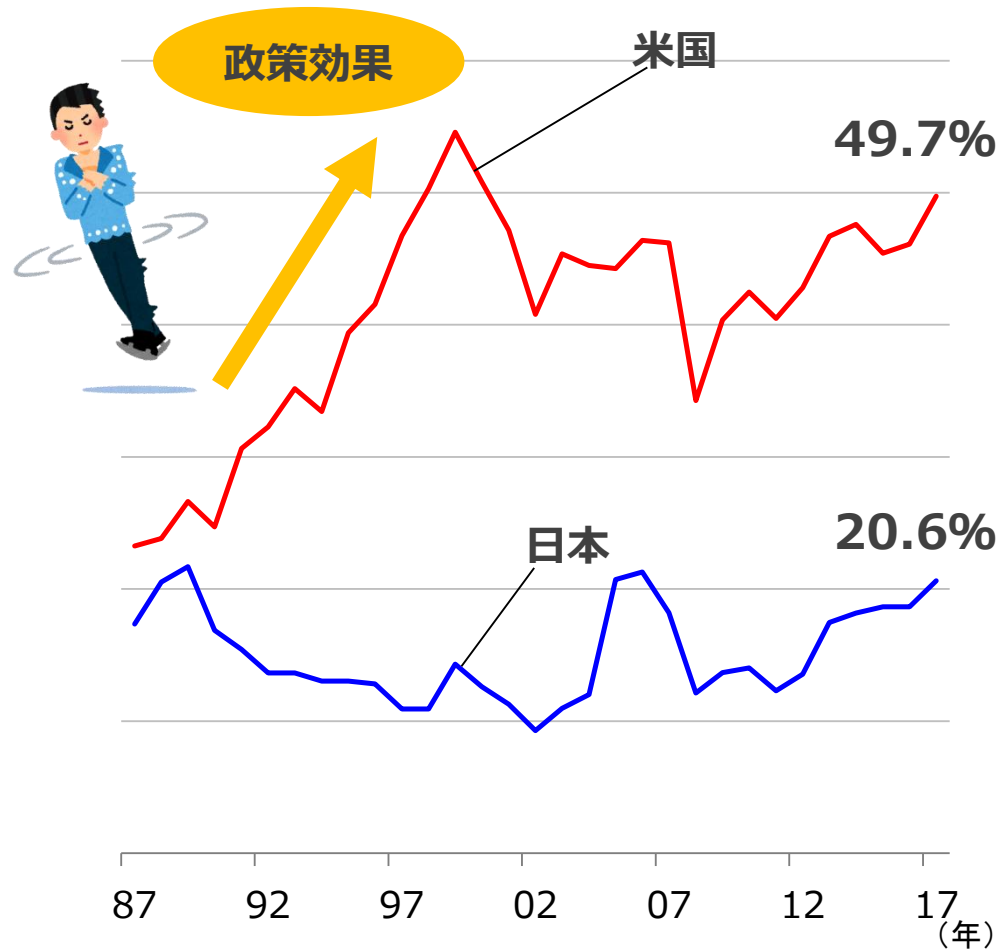
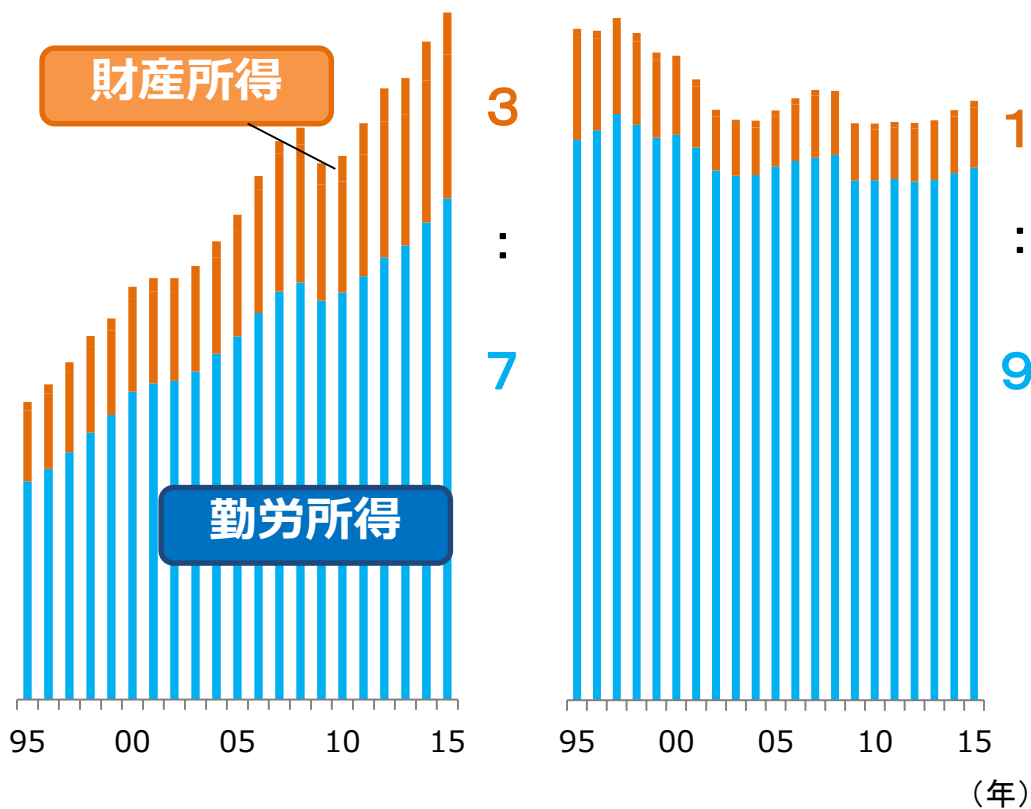
# 家計所得の日米比較

家計所得の構成比

家計の株式・投信等の保有割合

【米国】

【日本】



(出典) 日本：内閣府、米国：Bureau of Economic Analysis

(※) 株式・投信等は間接保有を含む割合。  
(出典) FRBより、金融庁作成

# 金融資産「ゼロ」世帯 過去最高（平成29年調査）

金融資産「ゼロ」世帯の推移



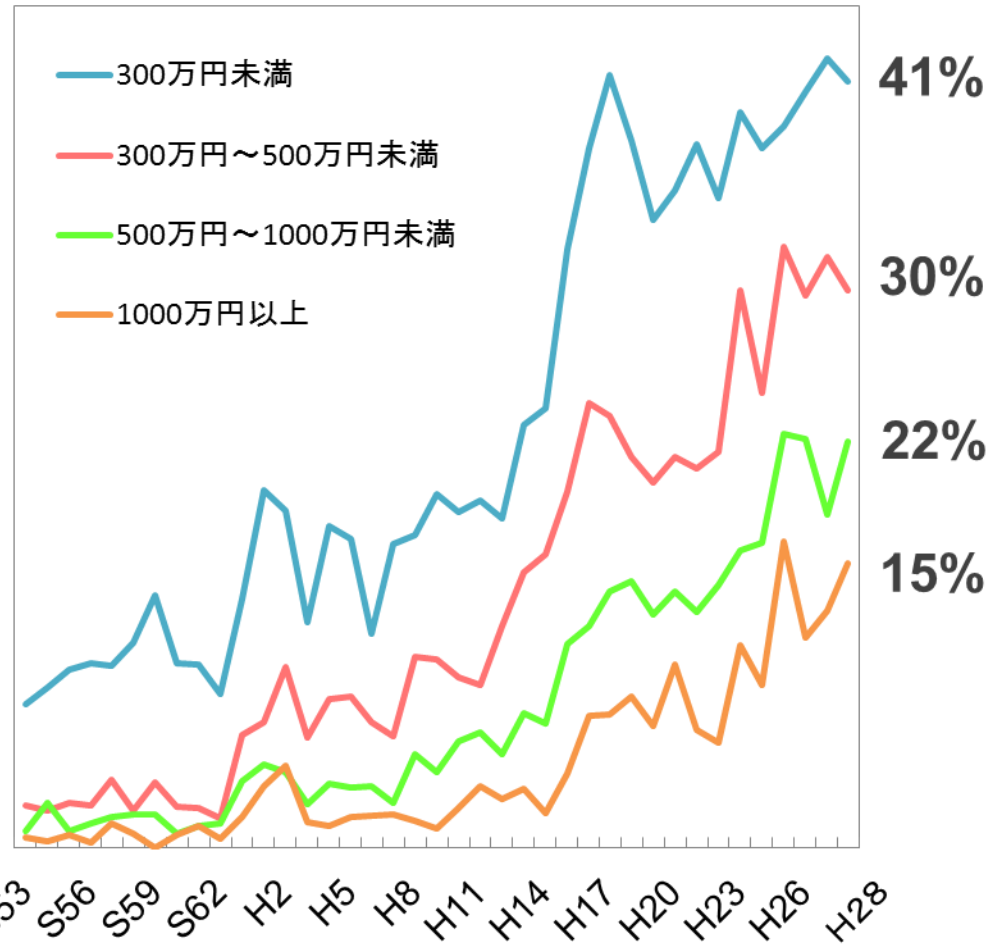
31%

22%

3%

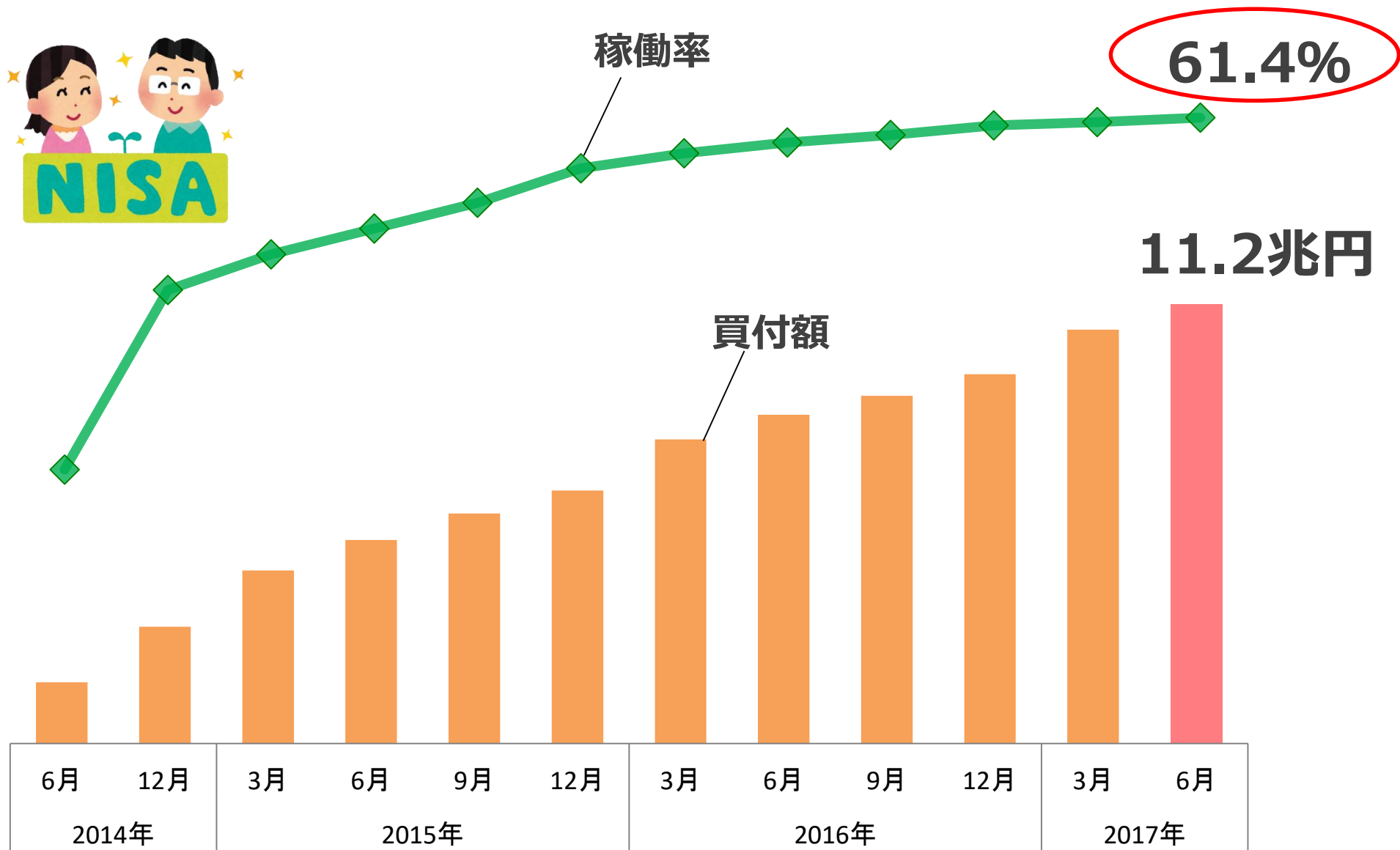
S38 S43 S48 S53 S58 S63 H5 H10 H15 H20 H25 H29

収入階層別の金融資産「ゼロ」世帯比率



(注) 金融資産とは、預貯金、信託、保険、有価証券等。ただし、給与振込等で一時的にしか口座にとどまらない預貯金等は除く。  
 (出典) 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」(二人以上世帯調査)

# NISA口座稼働率・買付額の推移



(出典) 日本証券業協会、金融庁

# 投資は必要だと思うが、行わない理由

(%)

0 10 20 30 40 50 60 70 80

少額投資  
を知らない

まとまった資金がないから

投資の知識がないから

投資は損がしそうで怖いから

どのように購入したら良いのか  
分からないから

取引を行う時間的ゆとりがないから

積立投資  
を知らない



(出典)金融庁「国民のNISAの利用状況等に関するアンケート調査(2016年2月)」(投資未経験者1,135人を対象)



# そもそも投資って！？

## ○ 投資 (広辞苑)

- ✓ 利益を得る目的で、事業に資金を投下すること
- ✓ 比喩的に、将来を見込んで金銭を投下すること
- ✓ 元本の保全とそれに対する一定の利回りを目的として貨幣資本を証券(株券および債券) 化すること

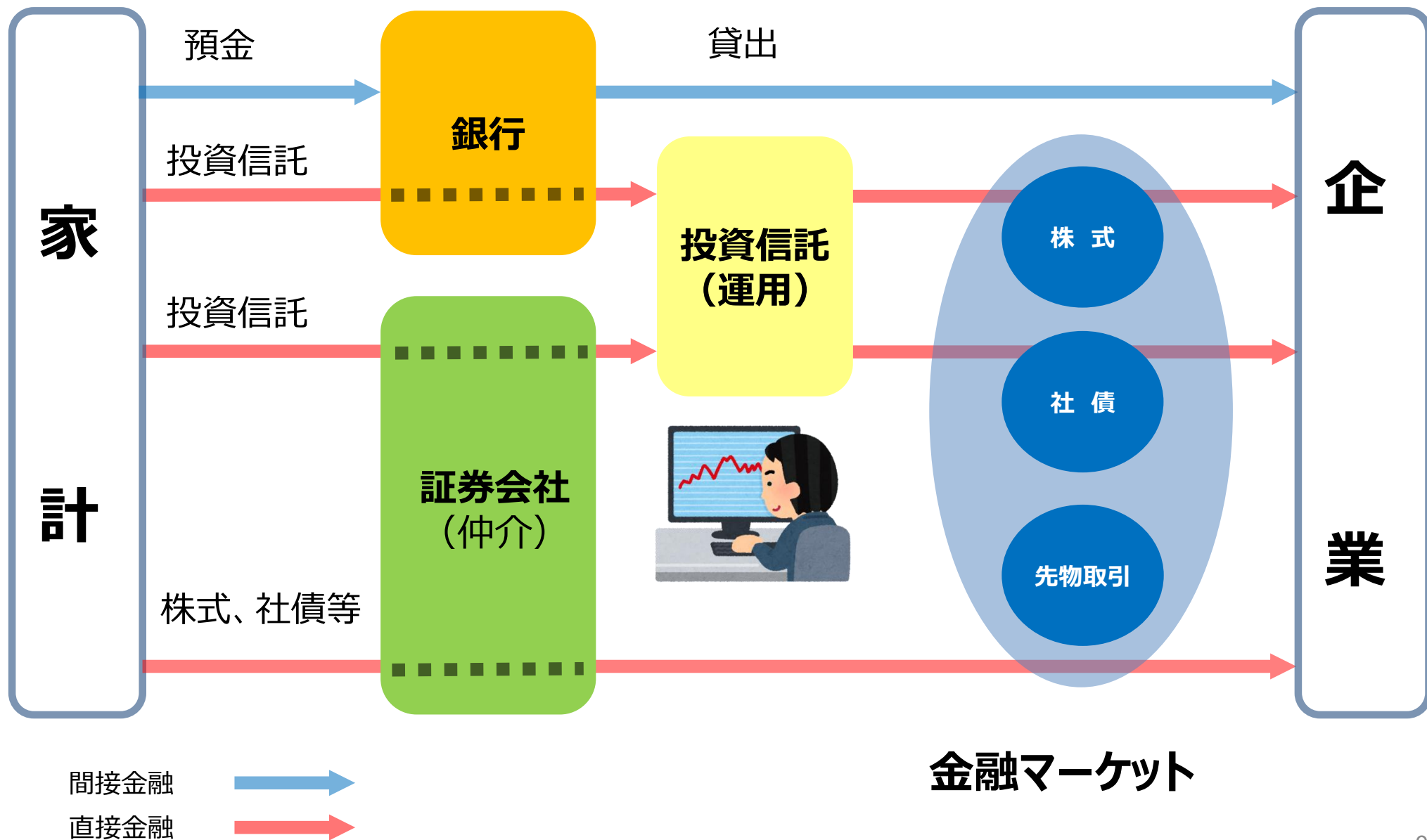


## ○ investment (Merriam Webster Learner's Dictionary)

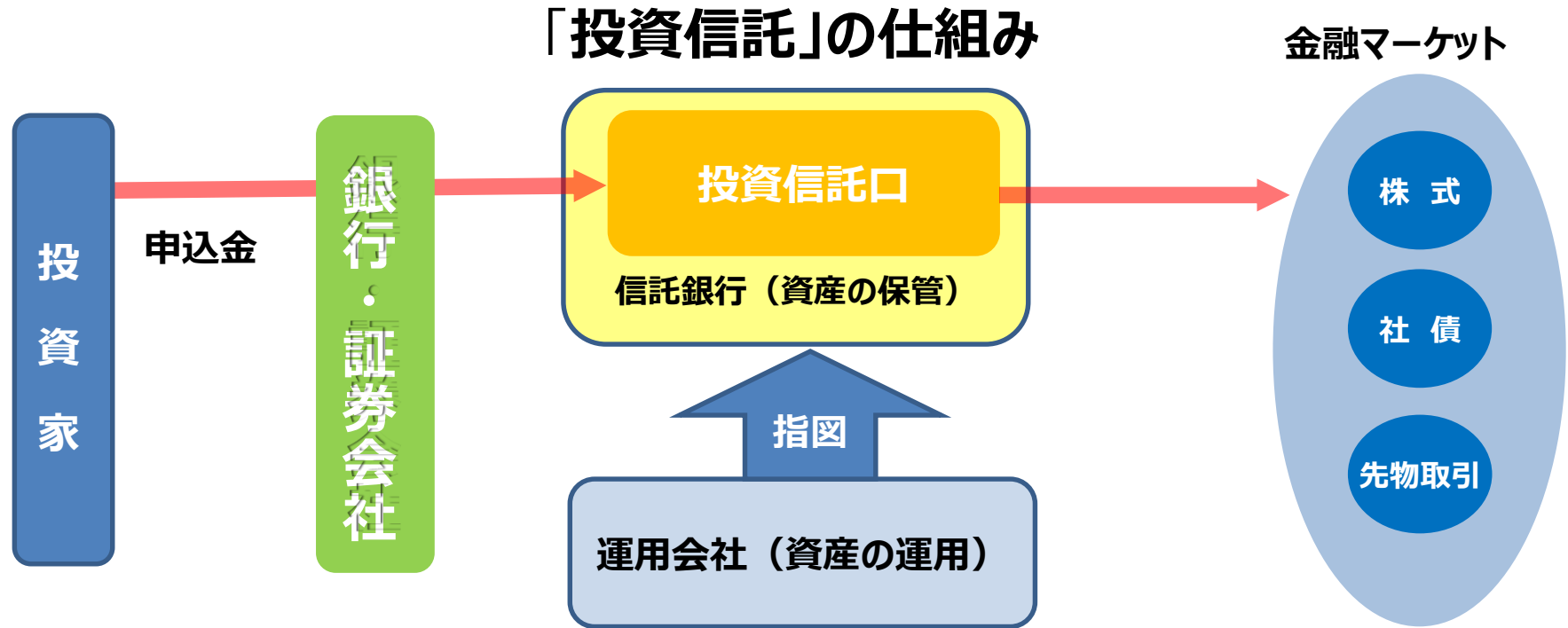
- ✓ the act of using money to earn more money
- ✓ the act of spending money on something that is valuable or expected to be useful or helpful
- ✓ the act of giving your time or effort in order to accomplish something or make something better



# 資金の流れ②（間接金融と直接金融）



# 投資信託による少額からの分散投資



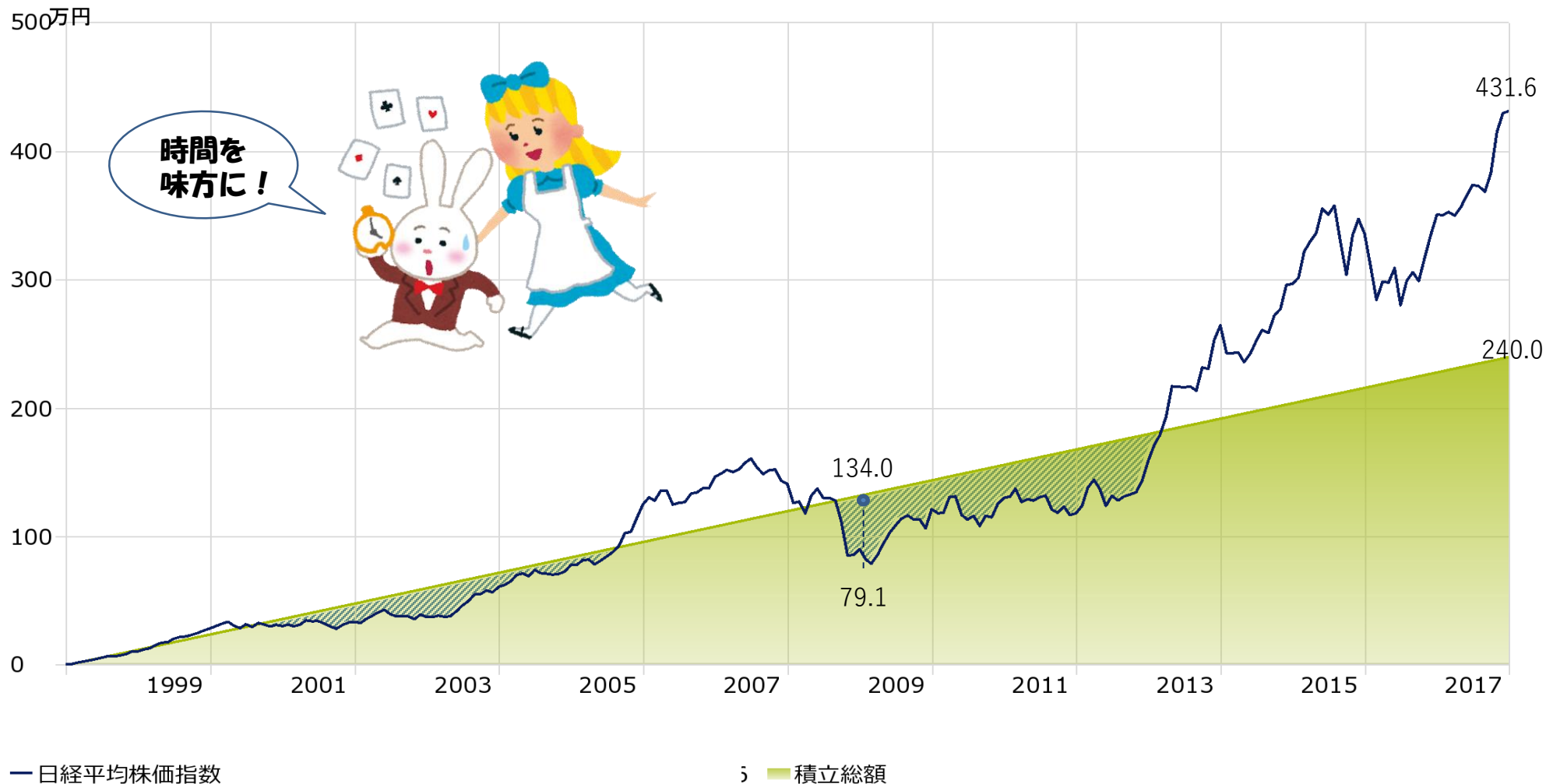
- 投資をするほどのお金がない！
  - **少額から投資が可能** (例えば、1,000円から)
- どの会社に投資したらよいか、わからない！
  - **分散して投資が可能** (例えば、マーケット全体に)



# 長期・分散投資の効果①

## 日経平均株価指数に20年間つみたて投資をした場合

期間: 1998/01/01 から 2017/12/31



本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保證するものではありません。

本資料はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の著作物です。イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

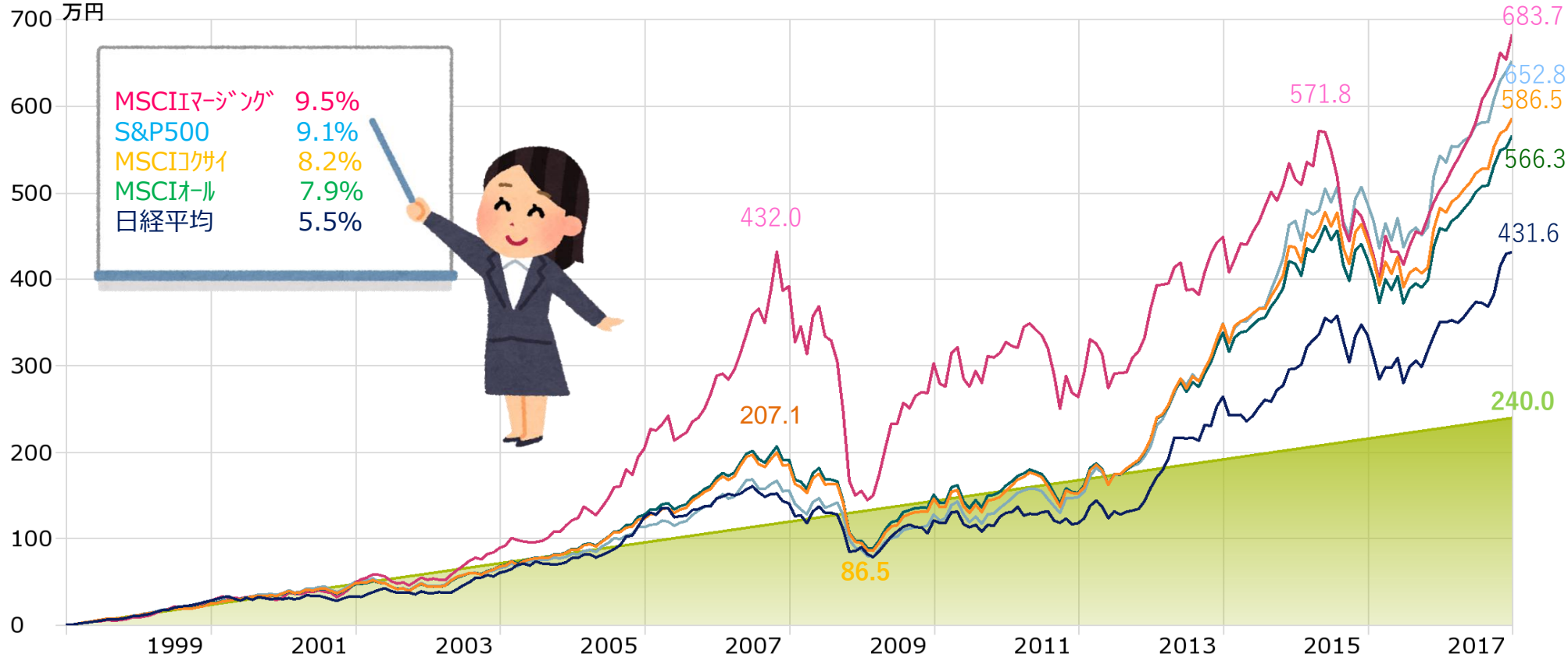
※株価指数に直接投資することはできません。データは投資コスト、税金などを考慮していません。

Copyright © 2018 Ibbotson Associates Japan, Inc.

# 長期・分散投資の効果②

## 世界の主な株価指数に20年間つみたて投資をした場合

期間: 1998/01/01 から 2017/12/31



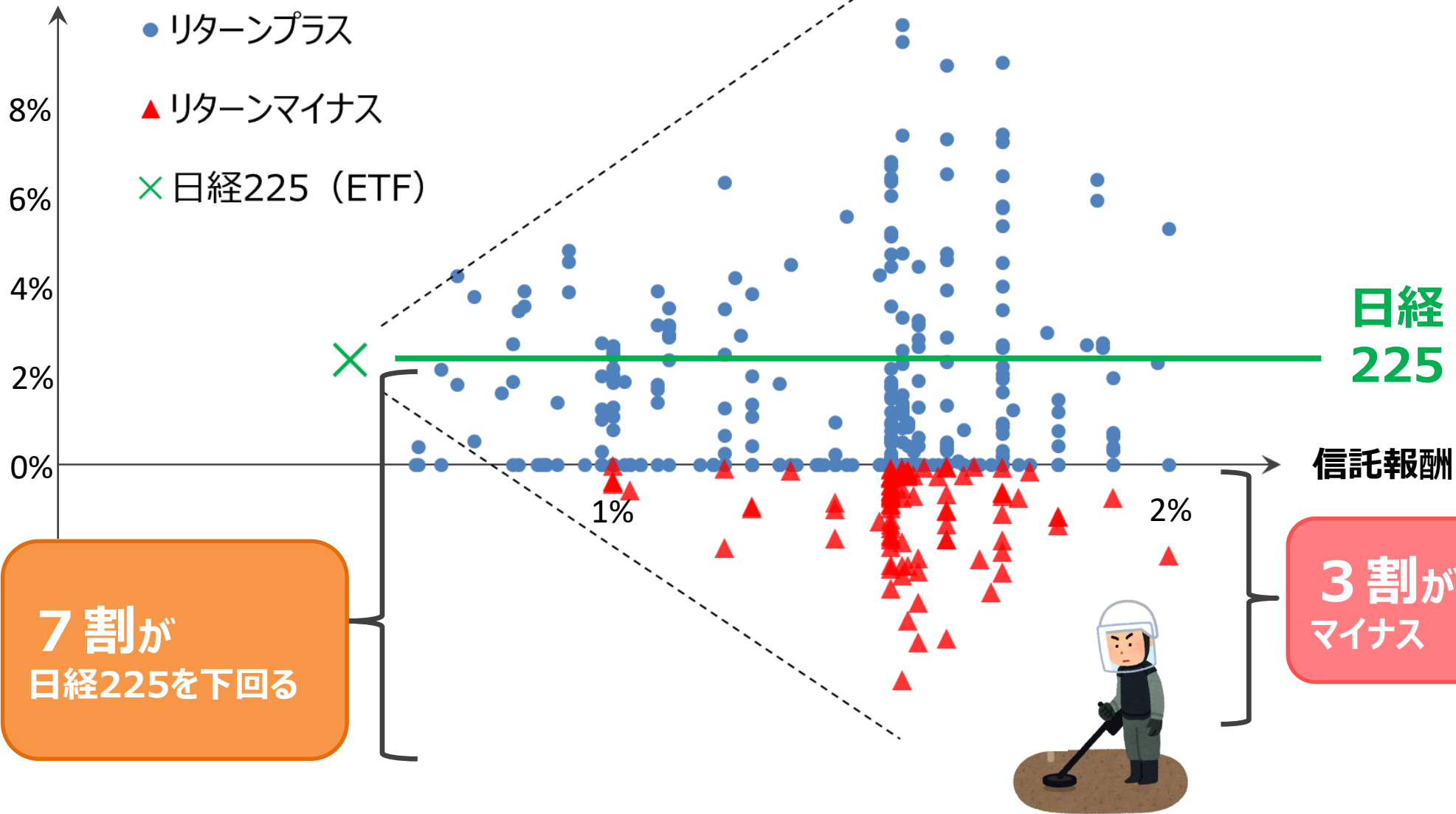
— 日経平均株価指数	431.6	— MSCIコクサイ (グロス)	586.5	— MSCIオールカントリー (グロス)	566.3
— MSCIエマージング・マーケット (グロス)	683.7	— S&P 500種株価指数 (配当込み)	652.8	— 積立総額	240.0

本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。  
 本資料はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の著作物です。イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。  
 ※株価指数に直接投資することはできません。データは投資コスト、税金などを考慮していません。

Copyright ©2018 Ibbotson Associates Japan, Inc.

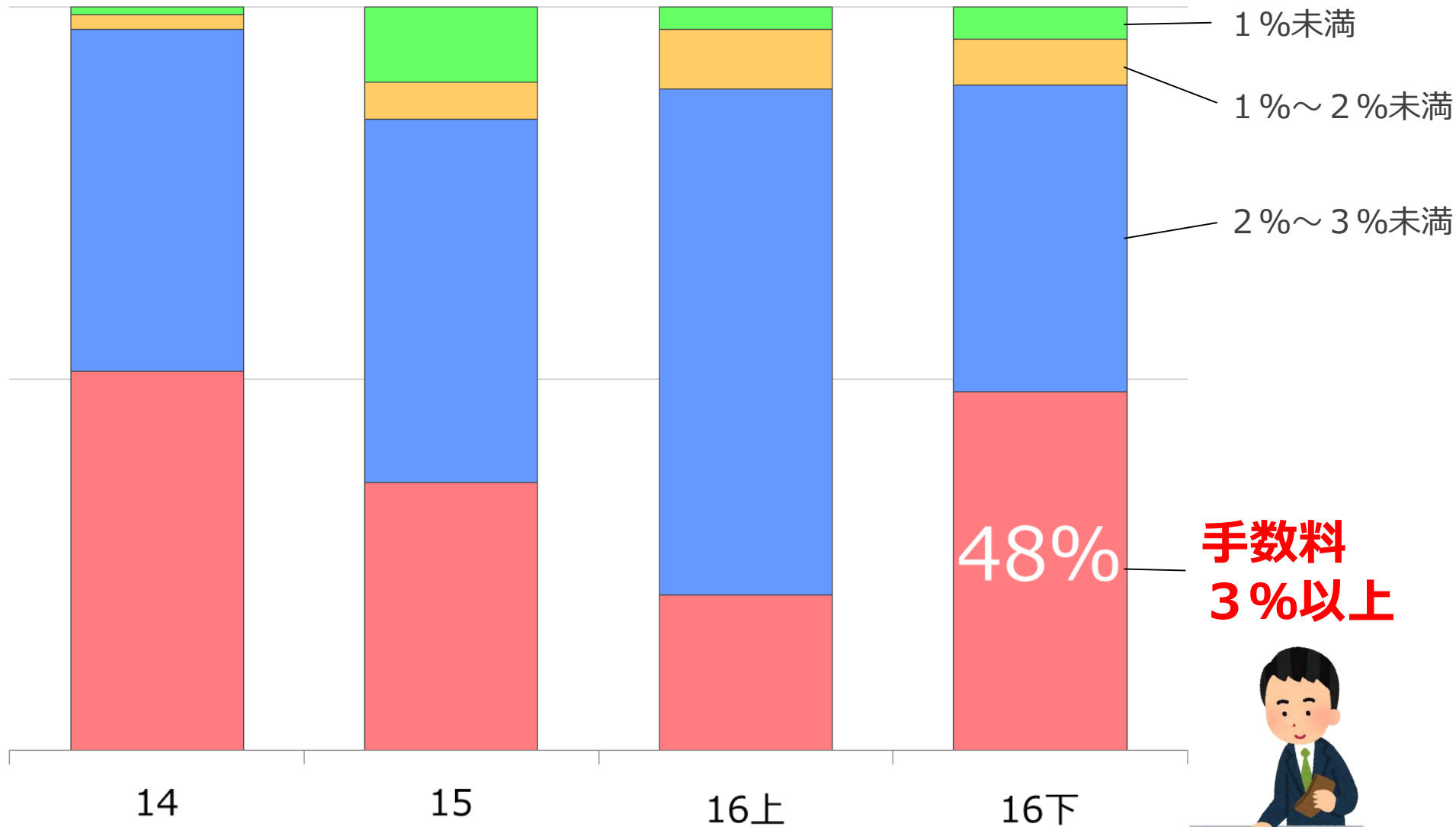
# 投資信託の信託報酬とリターン（国内株式アクティブ運用）

## 年率リターン（過去10年間）



(出典) QUICK、Bloomberg (2016年11月末時点) より、金融庁作成。

# 投資信託における販売手数料（階層推移）



**手数料  
3%以上**



(出典)金融庁



## つみたてNISA

- 長期・積立・分散投資を税制面（**非課税**）から促進
- **長期の資産形成に適した**商品（投資信託）に限定

## 顧客本位の 業務運営

- **「顧客本位の業務運営に関する原則」**の策定
- 顧客本位の業務運営の確立・定着に向けた、金融機関の取組みの**「見える化」**

## 投資教育

- **実践的な**投資教材の作成
- **職場をきっかけとした**投資教育の展開（職場つみたてNISA等）



# 一般NISAとつみたてNISA

## 一般NISA

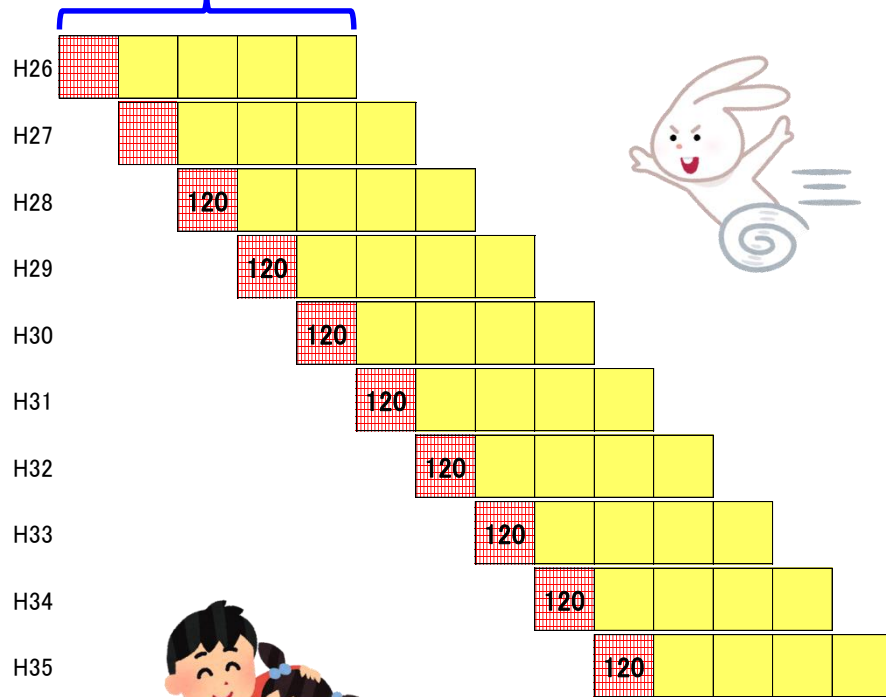
- ・非課税枠（最大）：**120万円**
- ・非課税の期間：**5年間**
- ・非課税の最大枠：**600万円**（120万円×5年）
- ・投資対象：上場株式、株式投資信託、REIT など

選 択

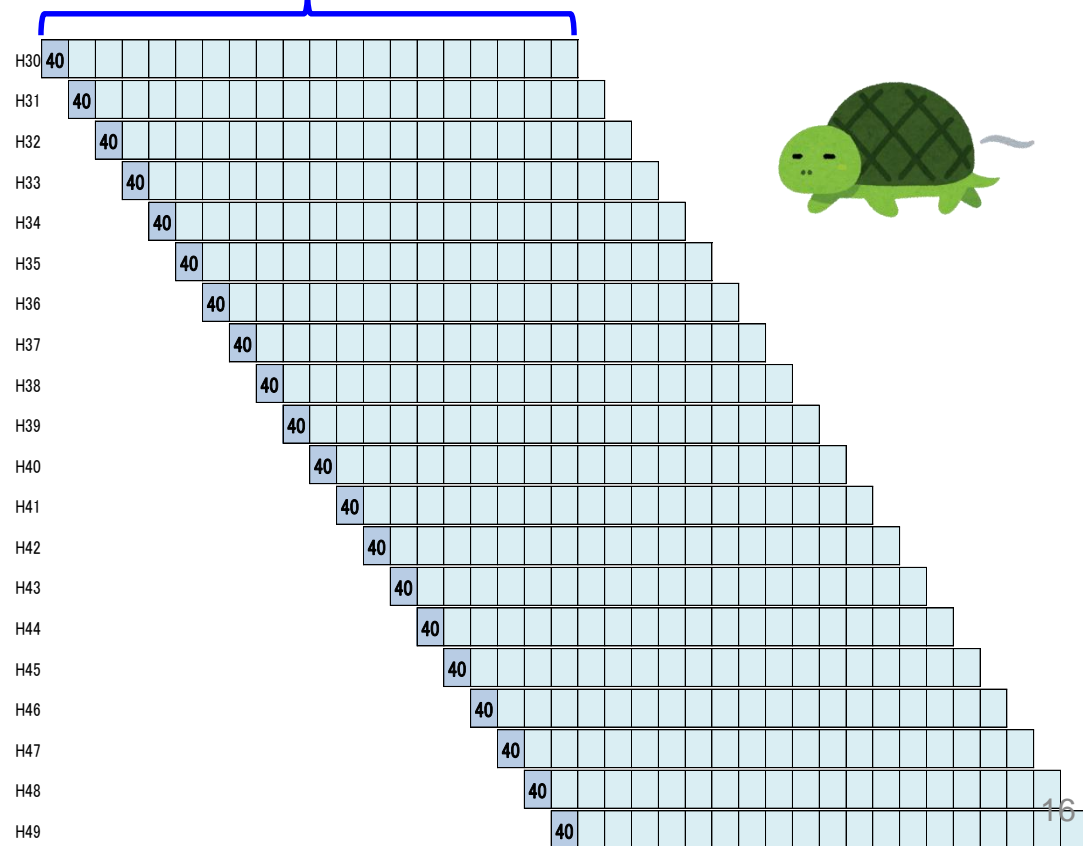
## つみたてNISA

- ・非課税枠（最大）：**40万円**
- ・非課税の期間：**20年間**
- ・非課税の最大枠：**800万円**（40万円×20年）
- ・投資対象：**株式投資信託**  
**長期の資産形成に適した商品に限定**

5年間



20年間



# つみたてNISAの対象商品について

既存の投資信託（公募投信全体で約5,000本）の大半は、資産形成に不向きなもの

- ✓ 短期的な運用のもの
- ✓ 手数料の高いもの
- ✓ 毎月分配型のもの
- ✓ レバレッジをかけたもの（日経225の2～3倍の値動き）等

つみたてNISAの対象商品（4月23日時点 148本） ※ETFを含む

**限定!**

- **インデックス投資信託**（市場平均に連動した成果を目指すもの）が**基本（129本）**
  - インデックスは金融庁が指定（※日経平均株価やS&P500等）
  - 低コストの商品に限定（国内資産を運用：0.5%以下、海外資産を運用：0.75%以下）
- **アクティブ運用の投資信託**（市場平均を上回る成果を目指すもの）は、例外的に、**継続して投資家に支持・選択され、規模が着実に拡大しているもののみ（16本）**
  - 純資産額が50億円以上、運用実績が5年以上、資金流入超の実績が認められるもの
  - 低コストの商品に限定（国内資産を運用：1.0%以下、海外資産を運用：1.5%以下）
- **販売手数料は0%（ノーロード）**

# 資産形成（投資）にあたってのポイント

	ポイント	つみたてNISA
長期投資	投資を始めたら、長期間続けること！	長期保有を前提とした制度 <b>非課税期間は20年間</b>
積立投資	投資のタイミングをとらえるのは難しい！定期的に自動で買付！	買付けの方法は、 <b>積立投資に限定</b>
分散投資	分散投資でリスクを軽減！ 資産の分散と地域の分散！	対象は、国内外の株式・債券等に <b>分散して投資する投資信託</b>
手数料	信託報酬は、長期の運用成果に大きな影響！	信託報酬が低く、販売手数料もノーロード（0円）の <b>低コスト商品に限定</b>
分配金	毎月、分配金を受け取ることは、長期の運用には向かない！	<b>毎月分配型でない商品が対象</b>
税金	原則、運用益は課税（20.315%）	運用益は <b>非課税</b>



**ポイント！**

「つみたてNISA」なら、すべてのポイントをおさえてる！

- つみたてNISAでは、買い付ける商品を変更することは出来ないのか。
  - 買い付ける商品は、いつでも変更することができます。
  - なお、過去につみたてNISAで買い付けた商品を、別の商品に入れ替えること（スイッチング）は出来ません。
- つみたてNISAを始める際、既に一般NISAで保有している商品は、売却する必要があるのか。
  - 既に一般NISAで保有している商品を売却する必要はありません。
  - 購入時から5年間はそのまま非課税で保有可能で、売却も自由です。
- つみたてNISAでは、20年以内に売却しなければ、非課税の恩典を受けられないのか。
  - 20年以内に売却しなくても、非課税の恩典は受けられます。
  - 20年の非課税期間が終了する際、その時の時価で課税口座（特定口座又は一般口座）に払い出されることとなり、つみたてNISAで保有していた間の値上がり分には課税されません。

# 資産形成を始めるにあたって

あなたは老後の「お金」について心配ですか？

「お金」の問題は自分でなんとかするしかありません。そして必ず解決できる問題です。

一般的には、自分の人生の持ち時間を使って、計画的に貯蓄して行くことで解決します。

現在の収入は、「今の生活費」だけではなく「将来の生活費」でもあるのです。



# 6つのステップで考えてみよう！

① 必要な貯蓄額を決める



② 全体でリスク資産をいくら持つ？



③ リスク資産と無リスク資産の中身



④ お金の置き場所（つみたてNISA等）は？



⑤ 投資商品を選択する



⑥ 金融機関の決定をする

# (0) お金を持つ3つの自由

## 1. 使い道の自由

- 使い道は後から考えたらいい

## 2. 大きさの自由

- 大きすぎても邪魔にならない

## 3. 形の自由

- 同じ対象・比率で投資すると同じ結果

お金の運用方法は誰でも同じ、「最も効率な方法」でいい。  
違いは、運用金額とリスクを取る大きさだけ。

# ① 必要な資産形成の金額は？

月々に**必要な積立額**を考えてみよう！

- 「平均」ではなく、「自分の数字」で計算してみよう
- 参考:「人生設計の基本公式」  
(<https://www.officebenefit.com/calculate/index.html>)

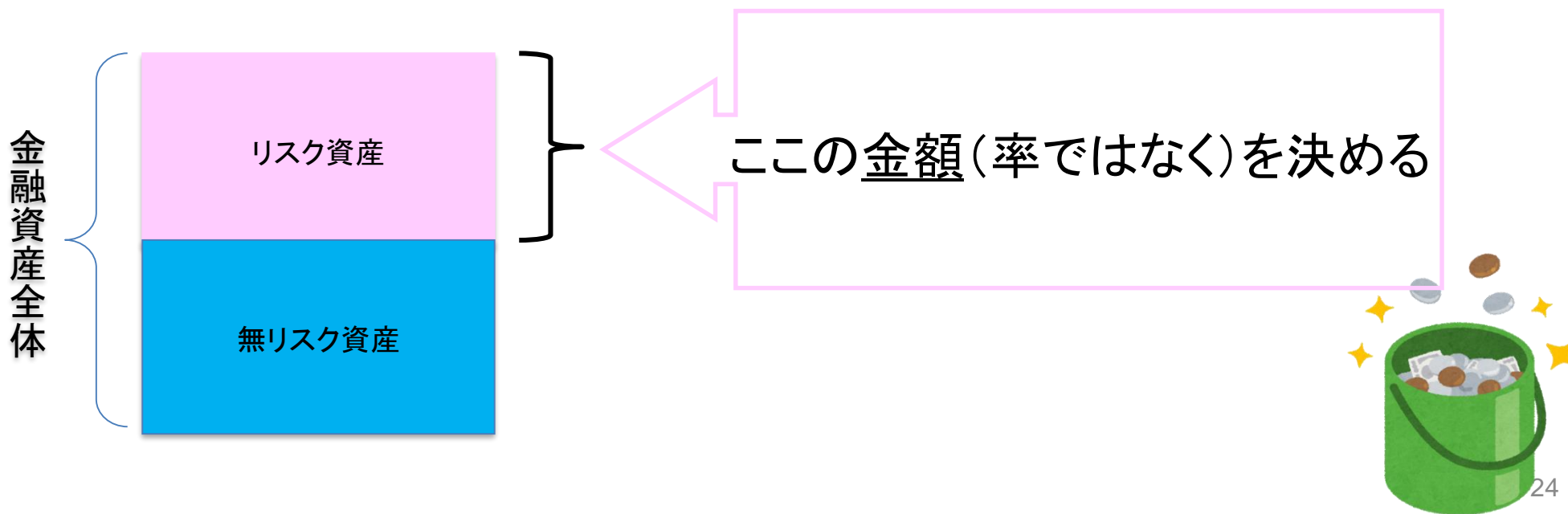




## ② 全体でリスク資産をいくら持つ？

「最悪の場合1年で3分の1損をするけれども、同じくらいの確率で4割くらい儲かることがあり、平均的には年率5%程度で儲かる」投資対象があるとすると、幾ら持ちたいか？  
と考えてみよう。

(※ 内外の株式インデックス・ファンドの場合)



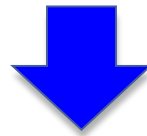
## 【参考：リスク評価の簡便法】

リスクは「360」で評価する

①65歳～95歳迄の30年間は360カ月

②360万円あれば毎月1万円取崩せる

◎「360万円損をすると、一月に使えるお金が1万円減る」



❖ 360万円の損得を、老後の「毎月1万円」と考える。

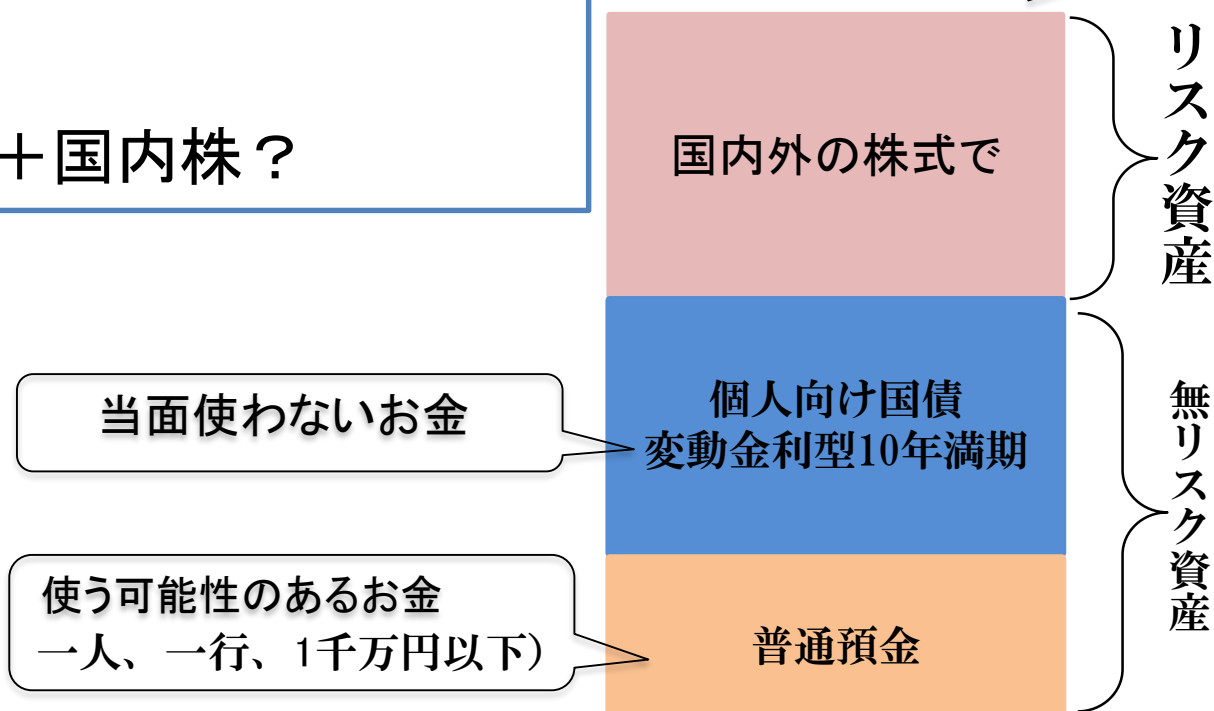
### ③ リスク資産と無リスク資産の中身は？

#### リスク資産の中身を考えてみよう！

- 現在の金利では債券を持つことは勧めにくい
- 内外の株式で持つことがおそらく合理的
- 外国株＋国内株？
- 全世界株式？
- 先進国株＋新興国株＋国内株？

#### 個人の運用の基本構造

「最大損1/3、  
平均年率5%」くらい  
と考えて、投資金額を決定

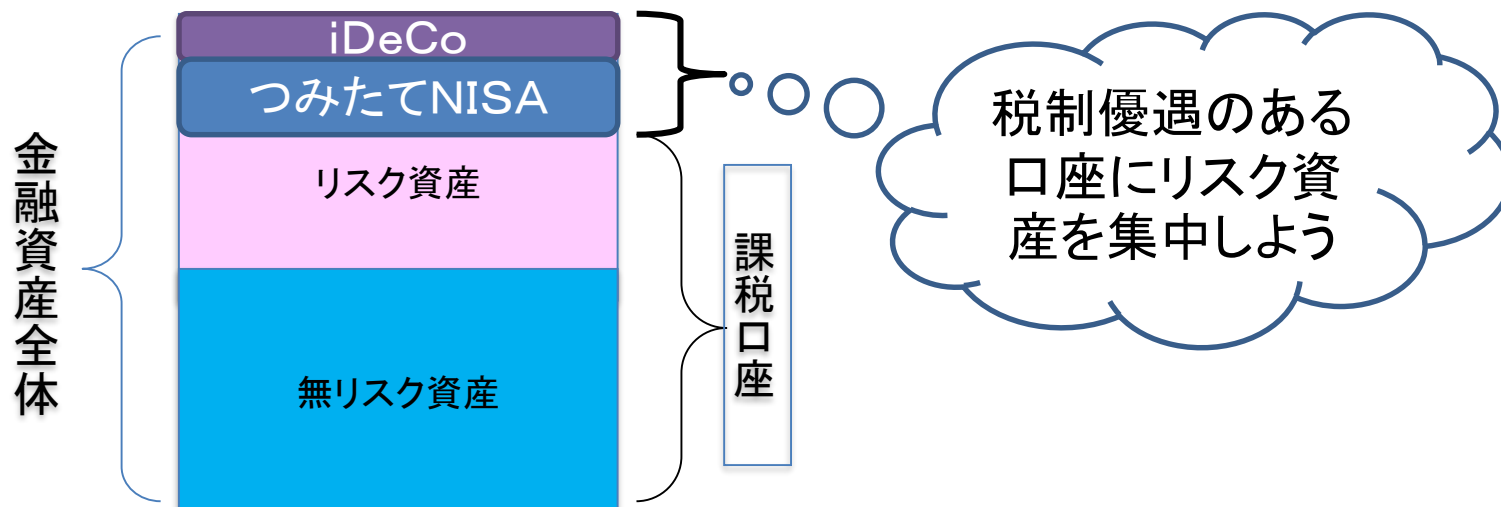


## ④ お金の置き場所は？

- iDeCo
- 一般NISA
- つみたてNISA
- 課税口座

...

## ● 税制上の優遇を最大限に利用しよう！



## アセット・アロケーション

	外国株式	国内株式	無リスク資産
課税口座			
NISA			
確定拠出年金			
合計			

アセット・アロケーション

## ⑤ 投資商品の選択は？

- コスト(信託報酬)を重視しよう
- 長期・積立・分散投資に適した商品を選ぶ
- つみたてNISAでは、長期投資に適した商品に限定されている！

### 運用商品評価の基本原則

+ ) 市場リターン

共通...

+ ) 運用スキル

評価不能...

- ) 手数料

確実な差！

運用商品のリターン

## ⑥ 金融機関の決定は最後！

- 先に金融機関を限定しない方がいい
- 投資したい運用商品のある金融機関を選ぶ
- 運用方法、商品、金融機関は自分で選ぶ！

今の収入は、「今の生活費」と「老後のお金」です。

現役時代にいかに貯めることができるか、言い換えれば「いかに計画的に将来のために移動することができるか」で、あなたの人生は、よくも悪くもなります。

お金があれば幸せということではないけれど、生きるためにお金は不可欠。お金によって人生の自由度は増します。

お金とは、単なる「手段」です。「安心」や「快適」や「便利」と交換できます。

単なる「手段」である以上、**できるだけシンプルに扱うこと**です！！